

# 布津笑楽校だより

第5号

令和5年7月10日  
南島原市立布津小学校  
文責：校長 横田 秀富

## 全校で集まっての「うたごえ集会」を開きました！

6月29日（木）の朝（8：10～8：25）、体育館に集合して、記念すべき第1回目の「うたごえ集会」を開きました。全校一斉に購入した「さあ歌おう」を手にした子どもたち、学校職員みんなで6月の歌3曲『にし』『世界じゅうの子どもたちが』『Believe（ビリーブ）』を 学校支援員の生ピアノ伴奏に合わせて歌い、心地よいひとときを過ごしました。集会の冒頭、私が次のような話をしました。

「今日は、全校みんなで集まって、うたごえ集会ができることをとても嬉しく思います。歌は、人生の友達です。世の中には、たくさんの歌がありますが、みなさんは、大好きな歌はありますか？

歌は、何か頑張らないといけないときに勇気づけてくれることがあります。悲しいことやいやなことがあったりしたときにも明るい気持ちにしてくれたり、励ましてくれたりすることがあります。みなさんも自分にとって大切な歌を見つけてくれるといいな。さて、今日は6月の歌を3曲歌います。楽しく歌ってください。まちがったらどうしようかな？とか上手に歌えるかな？って思わずに楽しく歌ってください。どれもとてもいい歌です。今日歌う1曲目は、『にし』です。校長先生の大好きな歌です。その歌詞の中に『きっと明日はいい天気。きっと明日はいい天気。』という歌詞があります。つらいことや悲しいことがあっても明日はいいことがあるって元気をもらいます。その部分だけ、ちょっとですが、歌ってみます。みなさんもその歌詞を大切に歌ってくれたらうれしいです。」ということで、マイギターを手に、その一節だけみんなの前で歌いました…。歌声あふれる布津笑楽校にしていきたいです。7月のうたごえ集会は、19日の朝（8：10～8：25）実施予定です。



### ☆布津笑楽校日記☆



#### 6/21 租税教室(6年)

社会科の学習の一環として、島原税務署より講師を招き、租税教室を実施しました。「もし税金がなかったらどのような社会になるのか？」動画視聴を通して学ぶことができました。やがて社会の一員となる6年生の子どもたち。税金が何に使われているのか、税金の必要性について学びを深めていました。1億円のアタッシュケースをもつ体験は、子どもたちの好奇心をくすぐっていました。いい学びができたようです。

#### 6/26 プログラミング(5・6年)

ICT支援員が来校し、5・6年生にプログラミングに関する授業を実施しました。6年生ではドローンを動かす内容でした。興味津々に学習している様子が印象的でした。ICT支援員が作成したプログラムから、どこに着地するかを予想する時間は、盛り上がっていました。5年生は、前回同様の内容でした。子どもたちには、このような学習を通して、社会で役立つ大切な能力の一つである「論理思考力」をぜひ身に付けてほしいものです。